

TORO®**バスケットキット**

Reelmaster® 3100-D シリーズ・トラクションユニット 27 インチ DPA
カッティングユニット用
モデル番号03185

取り付け要領**⚠ 警告**

カリфорニア州

第65号決議による警告

米国カリфорニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。

取り付け**付属部品**

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	—	マシンの準備を行います。
2	ローラバンパー フランジヘッドねじ 8 x 16mm	1 2	ローラバンパーを取り付けます。
3	ハイドロガード ボルト5/16 x 1インチ	1 1	ハイドロガードを取り付けます。
4	ガイドアセンブリ バスケットアセンブリ キャリッジボルト5/16 x 1 インチ フランジナット5/16 インチ バスケットブラケットガイドアセンブリ付き右用 バスケットブラケットガイドアセンブリ付き左用 ボルト5/16 x 2 1/4 インチ フランジナット5/16 インチ	2 2 4 4 1 1 2 2	バスケット装着アセンブリを取り付けます。
5	カットオフバー ボルト1/4 x 1 1/4 インチ ロックナット1/4 インチ	1 4 4	カットオフバーを取り付けます。
6	必要なパーツはありません。	—	新しいグラスデフレクタを取り付けます。
7	フランジロックナット3/8 インチ	2	サポートチューブを取り外す。
8	必要なパーツはありません。	—	後部用集草バスケットを組み付けます。



手順	内容	数量	用途
9	バスケット	3	バスケットをカッティングユニットに取り付けます。
10	必要なパーツはありません。	-	前バスケットの位置を調整します。
11	必要なパーツはありません。	-	後バスケットの位置を調整します。
12	必要なパーツはありません。	-	後バスケットのリップブラケットを調整します。
13	必要なパーツはありません。	-	後シールドを調整します。
14	必要なパーツはありません。	-	ローラバンパーを調整します。

注 27 インチ後ローラブラシキット Model 03186 を、このリールマスター 3100 集草バスケットキット Model 03185 の後バスケットと共に使用することはできません。後ローラブラシキットを取り外した場所に、後ローラスクレーパーキット Part No. 114-9368 を取り付けることができます。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. エンジンを止め、キーを抜き取る。

2

ローラバンパーを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ローラバンパー
2	フランジヘッドねじ 8 x 16mm

手順

ローラバンパーをエンジンのフランジに取り付けるフランジヘッドねじ 8 x 16mm 2本を使用 [図 1](#) を参照。

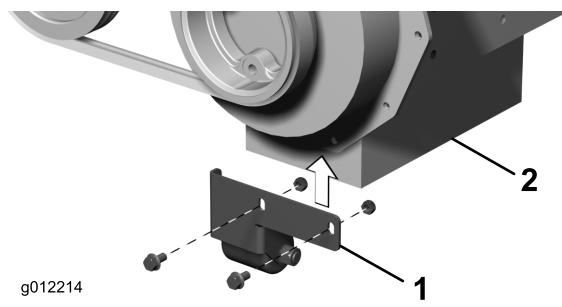


図 1

1. ローラバンパー

2. エンジン

3

ハイドロガードを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ハイドロガード
1	ボルト 5/16 x 1インチ

手順

1. ケーブルサポートブラケットの低い方の端部をポンププレートに固定しているボルトとナットを外す [図 2](#)。外したボルトは廃棄、ナットは再利用する。

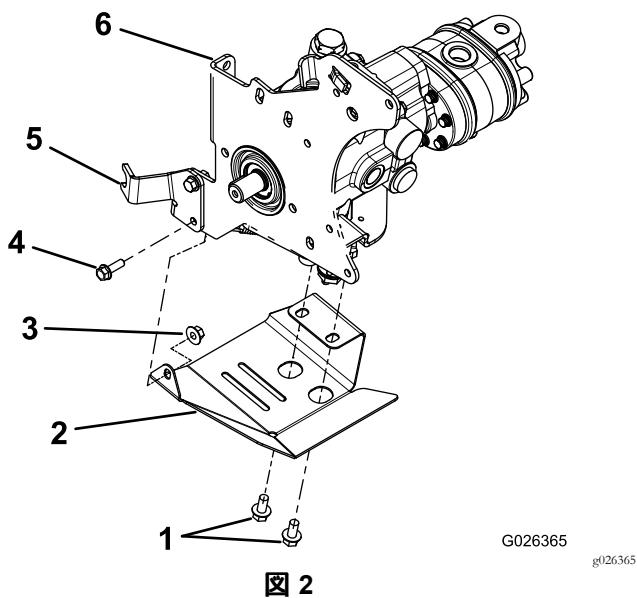


図 2

1. ボルト2本	4. ボルト
2. ハイドロガード	5. ケーブルサポートブラケット
3. ナット	6. ポンププレート

G026365
g026365

4

バスケット装着アセンブリを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	ガイドアセンブリ
2	バスケットアセンブリ
4	キャリッジボルト5/16 x 1インチ
4	フランジナット5/16インチ
1	バスケットブラケットガイドアセンブリ付き右用
1	バスケットブラケットガイドアセンブリ付き左用
2	ボルト5/16 x 2 1/4インチ
2	フランジナット5/16インチ

手順

2. ニュートラルブラケットをハイドロの裏側に固定しているボルト2本を外して保管する図 2。
3. 新しいハイドロガードとニュートラルブラケットを、ハイドロの裏側に取り付けるこの前のステップで外したボルト2本を使用する。この時点ではまだボルトは本締めしない図 2。
4. ケーブルサポートブラケットを、ポンププレートに仮止めする新しいボルトキットの付属品と、先ほど外したナットを使用する図 2。
5. 全部のボルトとナットを締めつける。

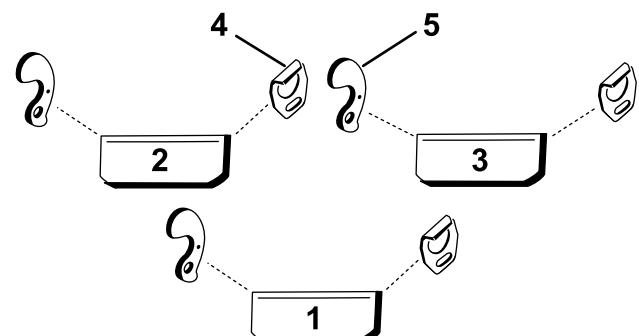


図 3

g195013

- | | |
|------------|----------|
| 1. 中央バスケット | 4. ガイド |
| 2. 左前バスケット | 5. ブラケット |
| 3. 右前バスケット | |

前カッティングユニット

3. 各キャリアフレームの右側の内側に、ガイドアセンブリを取り付けるキャリッジボルト5/16 x 1インチ2本とフランジナット5/16インチを使用する図 4。

- 注** キヤリッジボルトとフランジボルトは、出荷時にガイドアセンブリに取り付けてあります。
- 各キヤリアフレームの左側の内側に、ブラケットアセンブリを取り付けるキヤリッジボルト $5/16 \times 1$ インチ 2本とフランジナット $5/16$ インチを使用する図 4。

注 キヤリッジボルトとフランジボルトは、出荷時にガイドアセンブリに取り付けてあります。

後カッティングユニット

重要 アップダウンの激しい場所を刈り込む時には、後部のバスケットが落下しにくい赤色のバスケットをご使用ください。

- ガイドアセンブリ付きの右側バスケットガイドアセンブリ付きを、カッティングユニットのキヤリアフレームチューブの右端に挿入する図 5。

注 最終の調整がしやすいように、キヤリッジボルトとフランジボルトは、出荷時に、ブラケットアセンブリの中ほどの位置に取り付けてあります。

- バスケットブラケットについている穴を、キヤリアフレームチューブの穴に合わせ、ボルト $5/16 \times 2\frac{1}{4}$ インチとフランジナット $5/16$ インチを図 5 のように使って固定する。

注 ボルトはチューブの奥の壁まで締め通す必要があります。

- 左側バスケットブラケットバスケットアセンブリ付を、カッティングユニットのキヤリアフレームチューブの左端に挿入する図 5。

注 最終の調整がしやすいように、キヤリッジボルトとフランジボルトは、出荷時に、ブラケットアセンブリの中ほどの位置に取り付けてあります。

- バスケットブラケットについている穴を、キヤリアフレームチューブの穴に合わせ、ボルト $5/16 \times 2\frac{1}{4}$ インチとフランジナット $5/16$ インチを図 5 のように使って固定する。

注 ボルトはチューブの奥の壁まで通すこと。

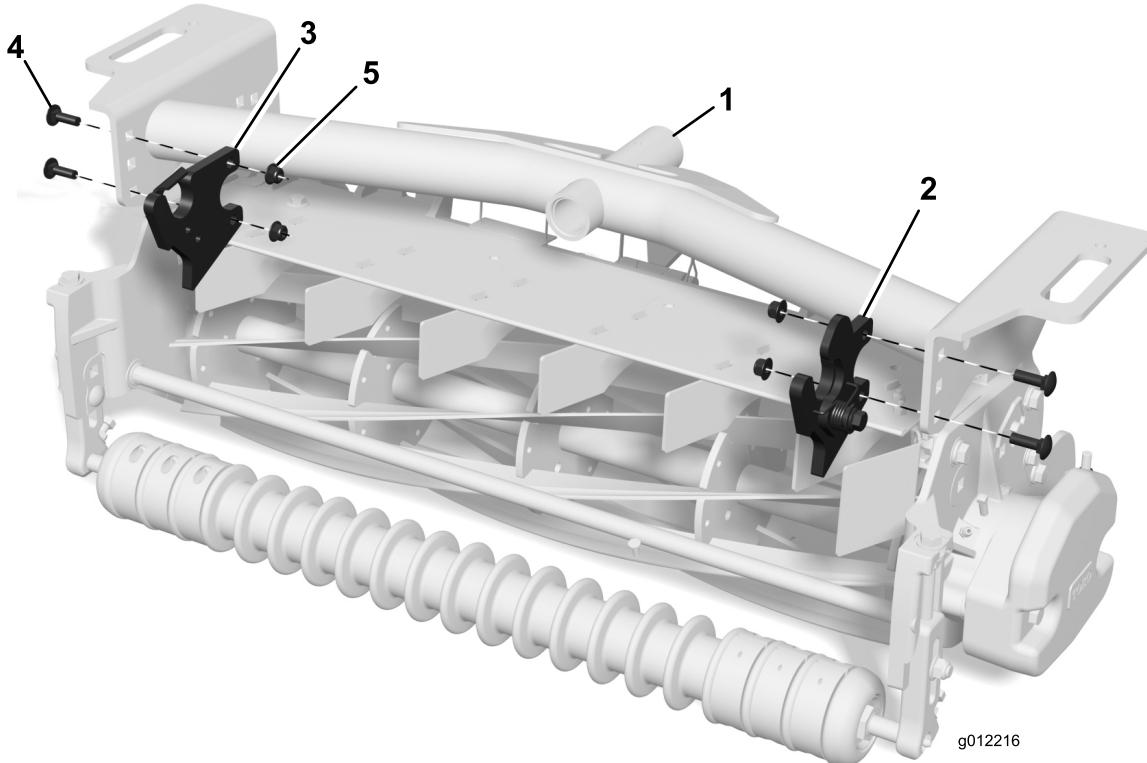


図 4

- | | | |
|---------------|----------------------------|-----------------------|
| 1. キヤリアフレーム | 3. ガイドアセンブリ | 5. フランジナット $5/16$ インチ |
| 2. バスケットアセンブリ | 4. ボルト $5/16 \times 1$ インチ | |

g012216

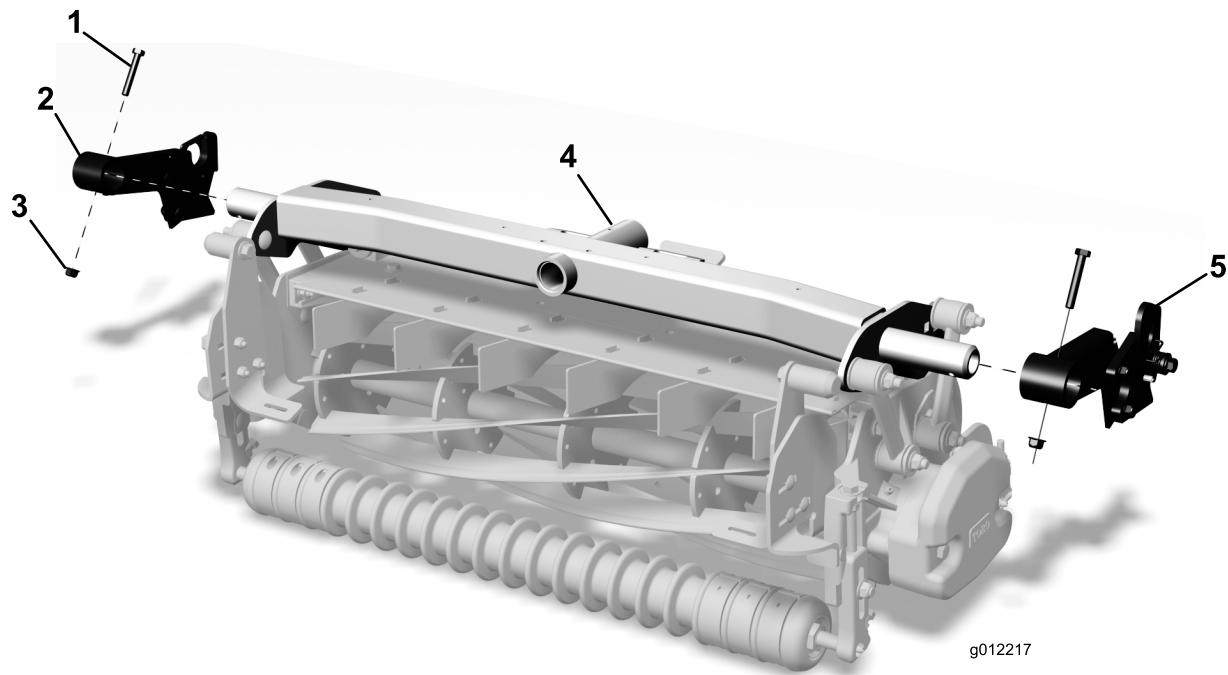


図 5

g012217

g012217

- | | | |
|----------------------------------|-------------------|--------------------------|
| 1. ボルト5/16 x 2 $\frac{1}{4}$ インチ | 3. フランジナット5/16インチ | 5. 右バスケットブラケットガイドアセンブリ付き |
| 2. 右バスケットブラケットガイドアセンブリ付き | 4. キャリアフレーム | |

5

カットオフバーを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	カットオフバー
4	ボルト $\frac{1}{4}$ x 1 $\frac{3}{4}$ インチ
4	ロックナット $\frac{1}{4}$ インチ

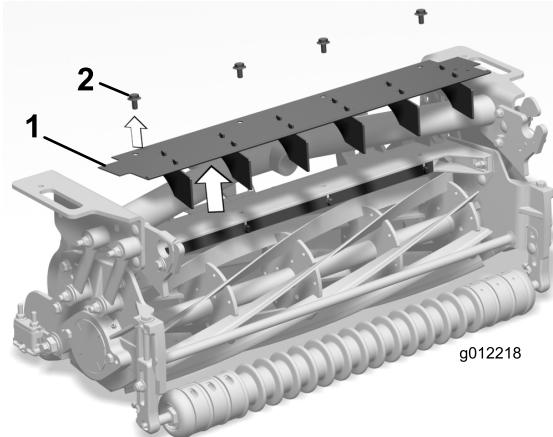


図 6

g012218

手順

- 前グラスシールドとデフレクタをカッティングユニットのフレームに固定しているフランジヘッドボルト4本を外す図 6

1. グラスシールド
2. デフレクタ
2. グラスシールドを取り外す。
3. カットオフバーをカッティングユニットのフレームに仮止めするボルト $\frac{1}{4}$ x 1 $\frac{3}{4}$ インチ4本とロックナット $\frac{1}{4}$ インチ4個を使用する図 7。

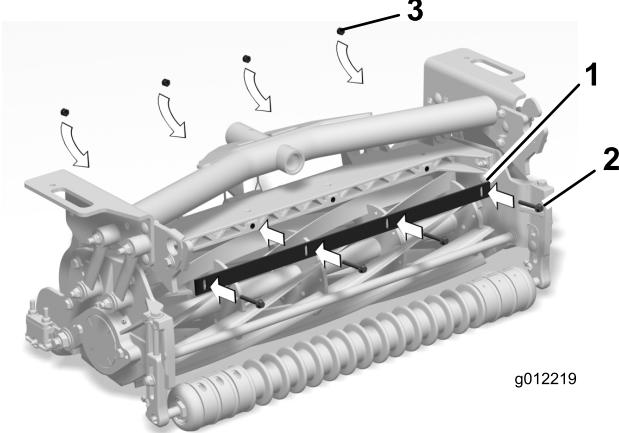


図 7

- 1. カットオフバー
- 2. ボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{3}{4}$ インチ
- 3. ロックナット $\frac{1}{4}$ インチ

- 4. 隙間ゲージ1.5mmを使って、リール上面とカットオフバーの下端との間のすきまを確認する
[図 8](#)。

注 リールの全幅にわたって隙間の幅が一定となるように調整するカットオフバーがリールに接触してはいけない。

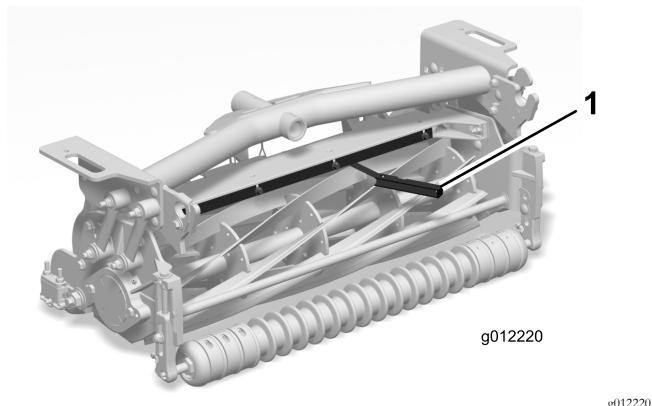


図 8

- 1. すき間ゲージ
- 5. ボルトとロックナットを締めつける[図 7](#)。
- 6. この時点ではまだグラスシールドは取り付けない。

6

新しいグラスデフ レクタを取り付ける (前のカッティングユニット のみ)

必要なパーツはありません。

手順

- 1. [図 9](#)に示すように、デフレクタ2つだけを残して、中央のデフレクタ2つと、シールドの各端部のデフレクタを取り外す。

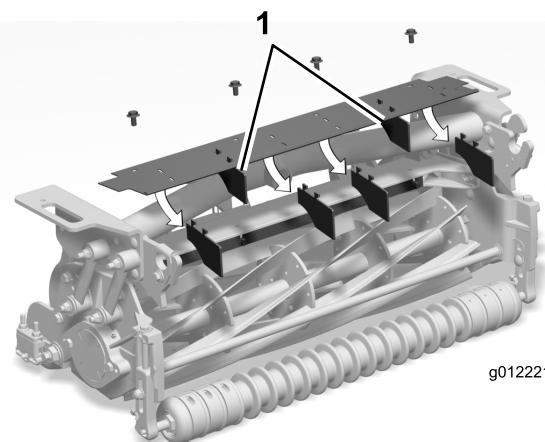


図 9

- 1. これらのデフレクタは外さないこと。
- 2. ねじ10-24 x $\frac{1}{2}$ インチ2本とナット10-24を使って、新しいデフレクタをシールドの左端に[図 10](#)のように取り付ける。

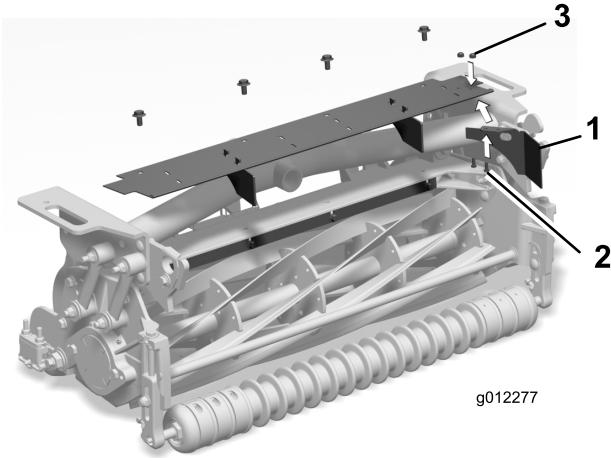


図 10

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. 新しいデフレクタ | 3. ナット 10-24 |
| 2. ねじ 10-24 x 1/2 インチ | |

3. グラスシールドと残りのデフレクタを取り付ける。

7

サポートチューブを取り外す

この作業に必要なパーツ

2	フランジロックナット 3/8 インチ
---	--------------------

手順

1. サポートチューブをカッティングユニットのサイドプレートに固定しているフランジヘッドボルト2本を外す図11。サポートチューブを取り外す。
2. フランジヘッドボルトを、カッティングユニットのサイドプレートに固定する付属品のフランジロックナット3/8インチ2個を使用する図11。

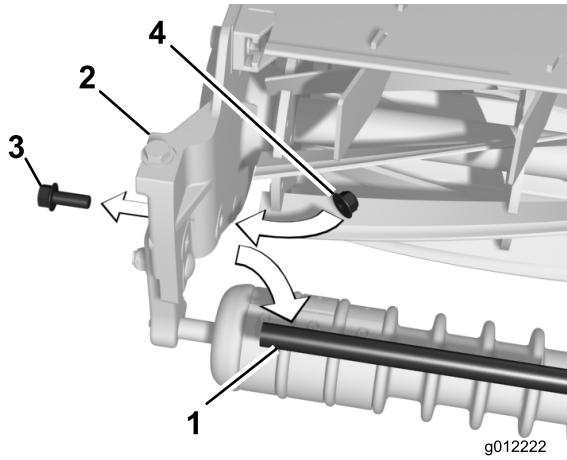


図 11

- | | |
|-------------|-----------------------|
| 1. サポートチューブ | 3. フランジヘッドボルト |
| 2. サイドプレート | 4. フランジロックナット 3/8 インチ |

8

後部用集草バスケットを組みつける

必要なパーツはありません。

手順

1. 出荷時にストラップボルトに付いているワッシャとナットを取り外す図12。
2. ストラップについているケーブルタイを取っ手代わりに使って各ストラップを引き伸ばして、ストラップをワッシャ2枚とロックナットでバスケットに固定できるようにする図12。バスケット上部の左右それぞれに、ワッシャを取り付ける。

注ストラップの取り付けが終了したら、ケーブルタイを切断してください。

注木片 20cm x 10cm 図12をバスケットの中に入れてバスケットの天井を支えておくとストラップの取り付けが簡単です。

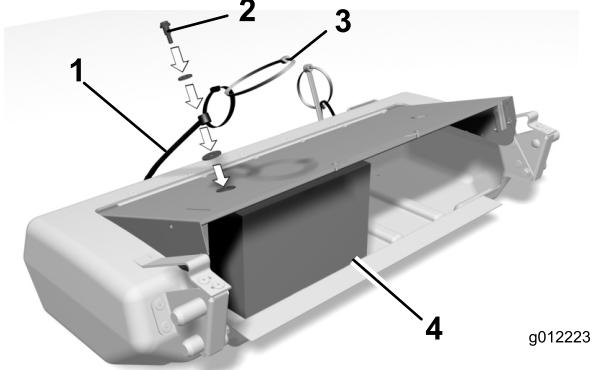


図 12

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. ストラップ | 3. ケーブルタイ |
| 2. ストラップボルト | 4. 木片 |

g012223

し、反対側の取り付けピンをピボットバスケットブラケットに押し入れて装着する図14。

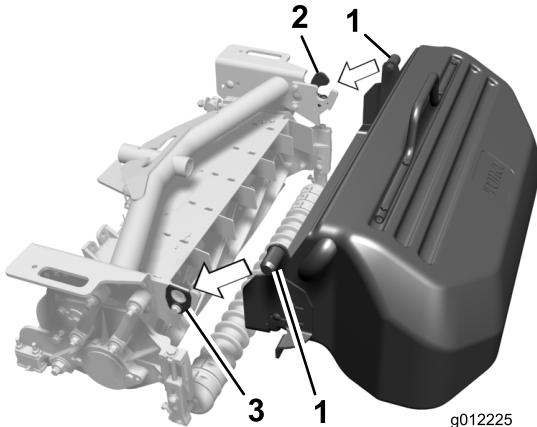


図 14

- | | | |
|----------------|------------|------------------|
| 1. バスケット取り付けピン | 2. ピボット式バス | 3. バスケットガイドブラケット |
|----------------|------------|------------------|

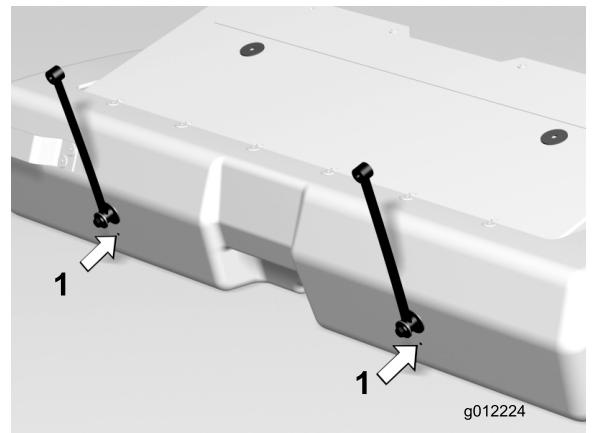


図 13

1. ガイドホール2個

g012224

9

バスケットをカッティングユニットに取り付ける

この作業に必要なパーツ

3	バスケット
---	-------

手順

各キャリアフレームに集草箱を取り付けるバスケット取り付けピンをバスケットガイドブラケットに通

10

前バスケットの位置を調整する

必要なパーツはありません。

手順

前バスケットがカッティングユニットに対して平行であること、また、バスケットのリップとリールとの間に最小すきま6mmが確保されていることを確認する。バスケット位置の調整が必要な場合は以下の手順で行う

- それぞれのバスケットの各端部で、バスケットストップブラケットをバスケットに固定しているキャリッジボルトをゆるめる図15。
- バスケットがカッティングユニットに対して平行になるように、また、バスケットのリップとリールとの間に最小すきま6mmが確保されるように位置を修正する図15。
- バスケットの各端部で、バスケットストップブラケットを調整してブラケットがサイドプレートに接触するようにする。
- キャリッジボルトのナットを締めてバスケットの位置を固定する。

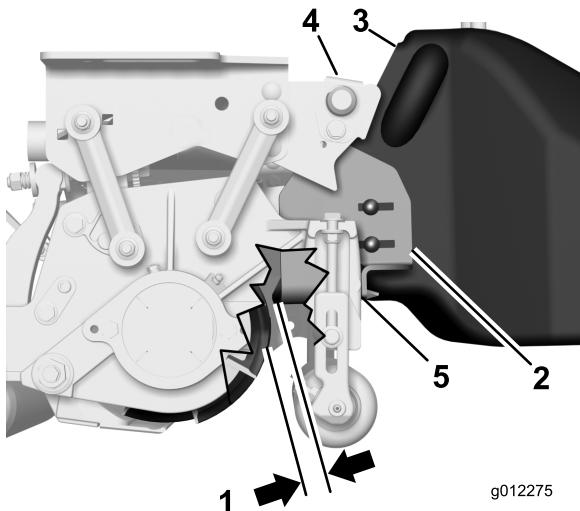


図 15

1. 6mm のすき間
2. バスケットストップ用ブラケット
3. バスケット
4. キャリアフレームのアーム
5. 接点

g012275

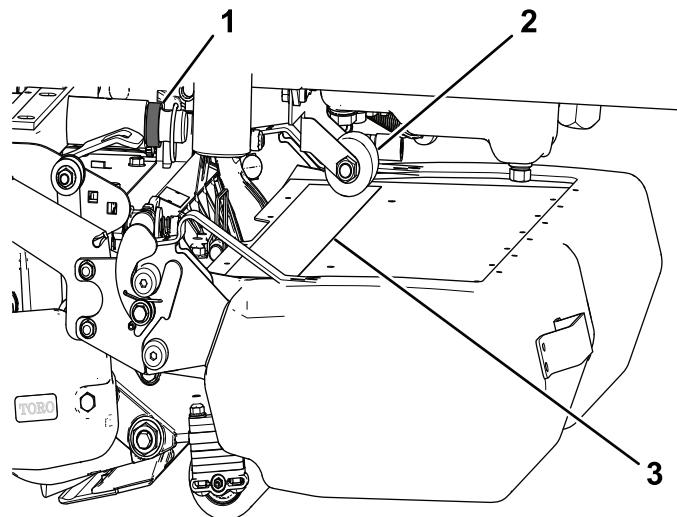


図 16

1. スペーサ
2. ローラ
3. ガラスシールドのウェアストリップ

g195002

2. バスケット後部がわずかに上がっているよう
にバスケットを調整する
 - A. それぞれのバスケットの各端部で、ガイドとブラケットアセンブリをバスケット
ブラケットに固定しているキャリッジボ
ルトとナットをゆるめる図 17。
 - B. キャリッジボルトのナットを締めてバス
ケットの位置を固定する。
 - C. カッティングユニットを何度か昇降させ
て、ローラがウェアストリップに接触す
ることを確認する。

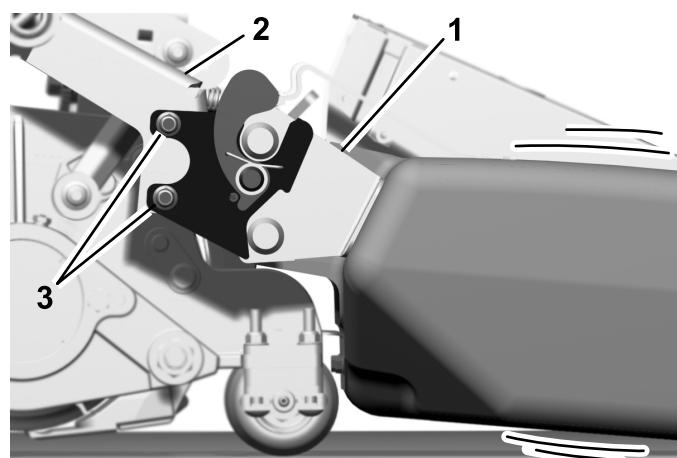


図 17

1. ブラケットアセンブリ図はバ
スケットの左端
2. バスケットブラケット
3. キャリッジボルトのナット2個

g012877

g0112877

- D. サイドワインダー機能を持つトラクショ
ンユニットでは、カッティングユニット

11

後バスケットの位置を調整する

必要なパーツはありません。

手順

後バスケットをカッティングユニットに取り付けるとき、バスケットがわずかに後ろに傾いているようにしてください。

カッティングユニットを上昇させた時に、ローラバンパーが常時、バスケットの上シールドのウェアストリップに接触している必要があります図 16。

1. 後中央のカッティングユニットを取り付ける
時、昇降アームピンのスペーサをカッティン
グユニットのキャリアフレームの後に図 16
のように取り付ける。

を左右にも何度かスライドさせて、ローラがウェアストリップに接触することを確認する。

- E. ローラがウェアストリップに接触していない場合には、バスケット後部をさらに上げる。

14

ローラバンパーを調整する

必要なパーツはありません。

手順

中央のバスケットが当たったときにローラが上部シールドと平行になるようにローラバンパー図19を調整してください。バスケットが平行でないと、バスケットを上昇させたときにバスケットの後部がエンジンに接触する可能性があります。

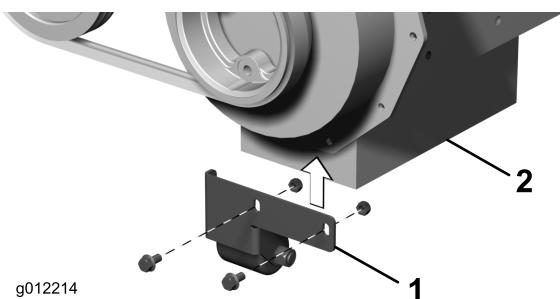


図 19

1. ローラバンパー

2. エンジン

12

後バスケットのリップブラケットを調整する

必要なパーツはありません。

手順

後バスケットのリップブラケットがローラと面一または6mm以内になっていることを確認する図18。ブラケットがローラと面一でない場合には、取り付けキャップスクリュをゆるめてブラケットを調整する。

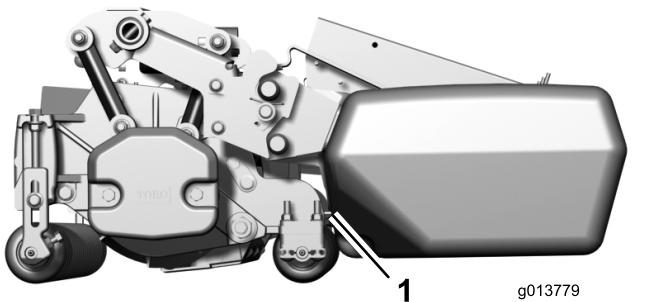


図 18

1. 後バスケットのリップブラケット

13

後グラスシールドを調整する

必要なパーツはありません。

手順

- ぬれた芝を刈り込む場合には、後シールドを一番上の位置にセットする。
- 乾燥している期には、後シールドを少し下げる
- と、刈りかすが集草箱の後ろまでよく飛ぶようになります。必要に応じて調整する。

メモ



Count on it.